

資料室 ニュース Vol. 19

2004年8月27日発行

資料ちゃんからのお知らせ



9月1日は防災の日です。

暑い夏は終わったけれど、雨はまだまだ降りそうです。
台風・大雨に備えて、水辺の事故にも注意しよう。



NEWS 夏休み子どもサマースクールを開催しました NEWS

日本地震学会、日本火山学会などの主催により、第5回地震火山こどもサマースクール「Mt.Rokkoのナゾ」が、8月7、8日の2日間にわたって開催されました。

小学5年生から高校生までの子どもたちが参加し、1日目は地震の勉強と液状化などの実験、2日目は六甲山へ足をのぼし、山なみや断層の観察をおこないました。

1日目
実験のようす



2日目
六甲山へ



長い年月をかけて風化し、われた岩





日本で起こった台風&豪雨災害



日本では毎年台風や豪雨による大きな災害が発生しています。また、9月は「台風シーズン」といわれます。そこで、これまでの代表的な台風と豪雨による災害を紹介するとともに、ふだんからできる対策や台風・豪雨がきたときの対策をまとめてみました。

伊勢湾台風(1959年9月26~27日)

死者・行方不明者5098名。伊勢湾での最高潮位は5.81mに達した。また、高潮により名古屋港近くの貯木場が決壊し、大量の巨大な木材が工場や住宅に流れ込んだため、流木により1800戸以上の住宅が全壊・流失し、1500人以上が死亡した。

りんご台風(1991年9月24日~10月1日)

死者・行方不明者62名。強力な「風台風」で、大規模な停電や水道・交通機関などに影響を与えた。農作物も大きな被害を受け、なかでも、青森県では出荷前のりんごの70%にあたる35万トンが落下したことから、「りんご台風」とよばれた。

福岡豪雨(1999年6月29日)

死者2名(福岡県)。大雨により福岡市内の川が数ヶ所であふれ出し、深いところでは1m以上になり、博多駅前には水没状態となった。地下街やビルの地下室にも大量に浸水し、あるビルでは地下1階が天井付近まで浸水し、逃げ遅れた女性が溺れて死亡した。

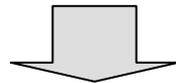
東海豪雨(2000年9月11日~12日)

死者7名(愛知県)。記録的な大雨により堤防が100mにわたり決壊し、名古屋市周辺では6万9533棟が浸水被害を受けた。東海道新幹線が22時間運休止し、5万人以上が車中で1泊した。また、地下空間にも浸水し、地下鉄でも運転再開までに2日かかっている。

ふだんからできる台風&豪雨対策

雨どいや側溝(みぞ)をこまめに掃除する
非常持出品の準備(貴重品・水&食料3日分)
避難場所・コースと家族の連絡先の確認

屋根・窓ガラス・へいなどの安全確認・修理
携帯ラジオ・懐中電灯(電池も)を常備する
飛ばされやすいものはしっかり固定しておく



台風&豪雨がきたときの対策

台風や大雨に関する情報を注意深く聞く
非常持出品を身近なところに置いておく
浸水に備えて、家財道具や生活用品(食料品・衣類・寝具など)を高いところに移動しておく

むやみに外出しない。外出したら早めに帰宅する
断水に備えて、飲料水を数日分確保しておく

日ごろの準備が被害を小さくします。

みなさんも考えてみましょう。

参考文献:『理科年表 平成16年』(国立天文台編)

『NHK20世紀日本大災害の記録』(平成14年 NHK出版)

『家族ぐるみの防災ガイド』(廣井脩監修 東京法規出版)

『都市と水害』(阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター)

=ぼ・う・さ・い なるほどばなし=

「防災の日」とは？

「防災の日」は災害に対する備えを強化し、被害の軽減をうったえる目的で、1960年に設置されました。9月1日は10万人以上が犠牲になった関東大震災（1923年）が起こった日であり、日本に多くの台風がやってくる時期でもあります。

また、8月30日から9月5日までは「防災週間」とされ、全国各地で防災訓練がおこなわれます。阪神・淡路大震災以降は、交通機関がマヒした場合などを想定した、実践的な訓練が増えています。

参考資料「防災なぜなぜおもしろ読本」山海堂1999年

新着図書

題名	著者・記事作成者	発信者・発行者
人はなぜ逃げおくれるのか	広瀬弘忠	(株)集英社
地震と活断層		丸善株式会社
都市の再生、地域の復活	伊藤滋	(株)ぎょうせい
最新 命を守る防災事典		(株)学習研究社
東京大地震緊急防災マニュアル '03年版		(株)ぶんか社
あなたのマンションが廃墟になる日	山岡淳一郎	(株)草思社
必携激甚災害制度の手引き		(株)大成出版社
日本の地震地図	岡田義光	東京書籍株式会社
阪神・淡路まちづくり支援から東海地震を考えるシンポジウム記録集		まちづくり支援全国交流シンポジウム実行委員会
大震災発生! マンション管理組合のための震災対応マニュアル	矢田政弘	マンション問題研究会
魚崎町南海地震・津波防災計画		魚崎町防災福祉コミュニティ
緑空間のマネジメント		(財)阪神・淡路大震災記念協会
黄昏の街	高橋明子	友月書房
桜木町意見書 市長への手紙 私たちの願いをこめて		桜木町自治会
活断層・古地震研究報告 第3号(2003年)		地質調査総合センター
関西都市域における地震防災に関する調査研究～地盤から見た防災計画と耐震技術～	都市域の地盤防災研究委員会	(社)建設コンサルタンツ協会近畿支部
復興の総括・検証報告書 平成15年度		神戸市復興・活性化推進懇話会
震災慰霊碑モニュメント集 続		上西勇
地震ハンドブック		毎日新聞大阪本社総合企画本部
災害救援の文化を創る	野田正彰	岩波書店
THE地震展		読売新聞東京本社
地球の中へ	ニコラス・ハリス	(株)理論社
紛争や災害の難民を助けるために	杉下恒夫(監修)	(株)学習研究社
阪神・淡路大震災復興都市計画事業・まちづくり	安藤元夫	(株)学芸出版社
KOBE発 災害救援	CODE海外災害援助市民センター	神戸新聞総合出版センター
津波・高潮ハザードマップマニュアル		内閣府(防災担当) ほか
コミュニティ・エンパワーメント		コミュニティ・サポートセンター神戸
街の復興カルテ 2003年度版		(財)阪神・淡路大震災記念協会

『日本の地震地図』岡田義光(防災科学技術研究所)著 東京書籍より発行

この本では、日本で過去に起こった地震や、これから起こるかもしれない地震が解説されています。地域ごとに、わかりやすく構成されており、地震を勉強したい人の教科書、資料集として役立ちます。

図書の紹介

